



## 【プレスリリース】

2008年2月25日

ホライゾン フュエルセル テクノロジーズ

### カートリッジ式燃料電池を搭載した発電機を日本で提供

- 水を注入するだけで発電可能なカートリッジ式燃料電池を採用
- 軽量かつコンパクトな形状で、台風や地震の際の停電時に最適
- 屋内での使用に適した、燃料電池技術により一酸化炭素の排出がゼロ

燃料電池技術・製品を開発するホライゾン フュエルセル テクノロジーズ( Horizon Fuel Cell Technologies 本拠：シンガポール 以下、ホライゾン)は、水をカートリッジに注入するだけで、瞬時に発電可能な可搬型のカートリッジ式燃料電池発電機「HydroPak (ハイドロパック)」を開発し、日本で提供を開始することを発表しました。提供開始時期は、2008年中を予定しています。この燃料電池発電機の試作機を、2008年2月27日から開催される「第4回国際水素・燃料電池展」(会場：東京ビッグサイト)で、ホライゾンのブース(ブース番号：6-47)で展示します。

ホライゾンは、国際水素・燃料電池展への出展を契機に、株式会社マウビック(本社：静岡県浜松市)と共同で日本代理店としてホライゾン フュエルセル ジャパン(Webサイト：[www.horizonfuelcell.jp](http://www.horizonfuelcell.jp))を設立しました。

HydroPakは、現在市販されている他の発電機と異なり、発電に軽油やガソリンを使用しないため有毒ガスを一切排出せず、クリーンで静音、軽量の発電機です。今回発表するHydroPakは、高さ22X幅21X奥行10cm、重量3キログラム以下で、燃料カートリッジ1本当たり270Wh(ワット/時間)の容量を備え、ACアダプタ用出力1個、USBポート2個から25Wから50Wの電力を供給します。ノートブックPCや携帯オーディオプレーヤー、照明器具など低消費電力機器の電源として、連続10時間以上、稼働させることができます。また、標準のノートブックPCの充電を1本のカートリッジで、約9回行うことができます。

コンシューマ用に設計されたHydroPakは、業界初の低価格な燃料電池発電機です。カートリッジ内の燃料には、運搬が安全で、劣化することなく長期間保存できる、環境に優しい無機化合物を使用しています。軽油を使った発電機と異なり、HydroPakは稼働中に一酸化炭素やその他の有毒ガスを一切排出しないため、屋内でも安心して使用可能です。また、

バッテリーを使用した発電機と異なり、HydroPak は長時間に渡り電力を供給するため、充電の必要もありません。

燃料カートリッジは半永久的に保存可能なため、特に地震が頻繁に発生する日本では、災害などによる停電の際に有用です。また、災害時に物資の供給が途絶え、発電機の継続使用ができない環境でも、HydroPak は少量の水を注入するだけで、発電が可能になります。

HydroPak は、緊急時の電力供給に加え、キャンプなどのアウトドアにおける各種電化製品の充電、船舶や工事現場での可搬型電力発電機としても使用可能です。

ホライゾン は日本のビジネスパートナーと協業し、燃料電池発電機の販売を行いながら、クリーンで可搬型の新しい電力システムの構築に関心を示す日本企業との提携を模索していきます。

ホライゾンは 2006 年に、教育用玩具市場向けに小型でシンプルな燃料電池製品の販売を開始しました。現在、同様の基本技術を応用した高度な製品の商品化に着手しています。シンガポールに本拠を置くホライゾンには、炭素フリーのクリーン電力技術を、研究段階から世界市場での商用化を目指す科学者、開発者、経営者がグローバルに集結しています。

ホライゾンが HydroPak を日本で発表したことにより、初期の燃料電池製品の販売から発展へ向けた第 2 のステップを踏み出したこととなります。ホライゾンは、受賞実績を誇る、未来の燃料電池車をモデルにした教育用玩具製品「H-racer」の販売開始により、事業を軌道に乗せました。ホライゾンのこれまでの市場へのアプローチは、60 年の実績を有する玩具自動車メーカーのコーギー インターナショナル ( Corgi International ) と協業し、先進的な燃料電池ハイブリッド型のリモートコントロール対応玩具自動車の開発に着手し、その結果、「H2Go」と呼ばれる製品を発表しました。2008 年 2 月に開催されたニュルンベルク国際玩具フェア( International Toy Fair in Nuremberg )にて、2008 年玩具革新賞( Toy Innovation of 2008 ) を受賞しました。ガス排出ゼロのソリューションの需要が増すことで、より多くの製品や応用機器の開発・商用化が進展します。ホライゾンはコーギーとの協業のような同様の提携を、可搬型発電から運輸、教育、住宅、通信、航空宇宙産業の分野までに発展することを期待しています。

#### ホライゾン フュエルセル テクノロジーズについて

ホライゾンは、「大きな構想を、実用可能なところから」をモットーに、小型コンシューマ製品でクリーン燃料電池技術の商用化を進める一方、可搬型発電や運輸、特殊製品市場向

けに比較的大型の燃料電池も開発しています。2003年に設立されたホライズンは、ユーザーの利便性を重視した総合的な技術開発を志向し、燃料電池技術を研究所から実社会へと商用化した最初の企業です。詳細な情報は、[www.horizonfuelcell.jp](http://www.horizonfuelcell.jp)でご覧いただけます。

**本件に関する報道関係者のお問い合わせ先**

ホライズン フュエルセル テクノロジーズ

広報代理 ウェーバー・シャンドウィック

担当：谷地田（やちた）

TEL: 03-5427-7412

**本件に関するお客様からのお問い合わせ先**

株式会社 マウビック内

ホライズン フュエルセル ジャパン

営業部 高橋

TEL:053-433-1238